



長沼小学校  
長沼中学校

# 学校だより

特別号  
令和6年9月18日発行

- ◇ 長沼町小中一貫教育重点テーマ「一人一人の学びをしっかりと支え、誰一人取り残すことのない教育の実現」
- ◇ 目指す児童・生徒像 「長沼を愛し、学び・行動し・協働して未来を切り拓く人」

## 令和6年度 全国学力・学習状況調査 結果と分析 長沼小学校

文部科学省が4月に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果についてお知らせいたします。小6と中3を対象とした調査です。全体と各教科について、学年全体の結果を分析したところ、以下のようになっています。

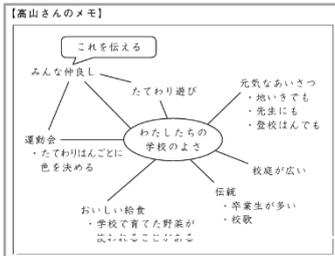
### 1 各科目の平均正答率

	国語	算数
本校平均	62.0%	60.0%
R6 全道平均	67.0%	61.0%
R6 全国平均	67.7%	63.4%

### 2 調査結果から見られる本校の概要

(1) 学力面の調査から ～ 特に正答率が低かった問題例 ～

#### 【国語編】

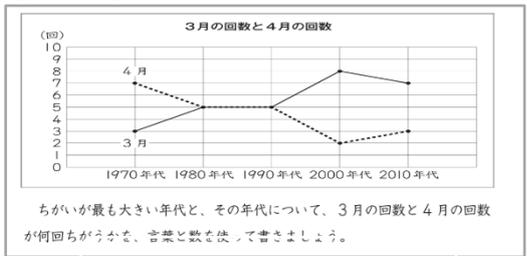


#### メモの関係を読み取る問題

「たてわり遊び」は、毎月1回、休み時間に「たてわりはん」で遊ぶ活動です。みんなが楽しめるように、6年生が、遊びたいことを下級生に聞いたり、ルールをくふうしたりします。例えば、ドッジボールでは、上級生が遠くからボールを、いなげるようにしています。

#### メモをもとに文章の続きを書く問題

#### 【算数編】



ちがいが最も大きい年代と、その年代について、3月の回数と4月の回数が何回ちがうかを、言葉と数を使って書きましょう。

#### 式や言葉を用いて説明する問題

(2) 質問紙調査から

- 本校児童の良さが見られた質問 (肯定的な回答が90～100%)
  - ・人の役に立つ人間になりたい
  - ・友達関係に満足している
  - ・先生は良いところを認めてくれる
  - ・先生は分かるまで教えてくれる
  - ・いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う
- 本校児童の課題が見られた質問 (肯定的な回答が70%以下)
  - ・自分にはよいところがある
  - ・将来の夢や目標をもっている
  - ・学校に行くのは楽しい
  - ・困りごとを先生や学校の大人にいつでも相談できる
  - ・自分と違う意見について考えるのが楽しい
  - ・ICTの使い方でお家の人との約束を守っている
  - ・授業以外の時間に1日1時間以上学習している
  - ・土日など学校が休みの日に1日1時間以上勉強する

3 課題に対する今後の取組 ～ 特に以下の点について指導を引き続き強化いたします ～

(1) 学習面

- ・自分の考えをしっかりと持つこと
- ・自分の考えをしっかりと書くこと
- ・自分の考えたことやまとめたことを一定の条件(例えば字数制限)をつけて書くこと
- ・資料や図表・問題文の言葉や数式を使いながら説明すること

(2) 生活面

- ・学校生活全般に肯定的な回答が多く、概ね学校生活、友達関係に満足していることが読み取れるものの、自分にはよいところがある、将来の夢があると回答する児童の割合が低いことから、自尊意識が高まるような指導を継続します。
- ・家庭学習については、義務教育9年間を見通し、中学校や家庭との連携を強化しながら、小学校段階での目標時間が達成できるよう指導を継続します。

6年生の保護者の皆様には、個人票(児童個々の結果)をすでに配付しています。個人結果をご覧になりながら、ご家庭での学習や生活の指導に生かしていただきたいと思います。

## 1. 各科目の平均正答率

	国語	数学
本校平均	57%	52%
R6 全道平均	58%	51%
R6 全国平均	58.1%	52.5%

◇平均無解答率

国語 1.9%

数学 8.1%

◇正答率30%以下の生徒の割合

国語 12.6%

数学 13.8%

## 2. 調査結果から見られる成果と課題

### 国語科

#### ☆成果

【思考力・判断力・表現力】のうち、B「書くこと」において、目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるかどうかを問われたものについては、比較的高い正答率が見られた。C「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約することができるかを問われたものについても比較的高い正答率が見られた。

【知識および技能】のうち、(1)「言葉の特徴や使い方に関する事項」において、文脈に即して漢字を正しく書く問題において高い正答率が見られた。

#### ●課題

【思考力・判断力・表現力】のうち、A「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて質問しながら話の内容をとらえることができるかどうかを問われたものや、意見と根拠など情報と情報との関係について理解しているかどうかを問われた問題について、比較的正答率が低い結果となった。日常的に話し合い活動を通して、適切な話し方や、適切に情報収集しながら話を聞く活動などを多く設定しながら、表現力の向上に努めていきたい。

### 数学科

#### ☆成果

【知識・技能】のうち、B「図形」において、回転移動について理解しているかを問われたもの、筋道を立てて証明することができるかを問われたものについて高い正答率が見られた。C「関数」において、グラフの傾きや交点の意味を解釈することができるかを問われるものについて高い正答率が見られた。D「データの活用」において、与えられたデータから最頻値を求める事ができるかを問われるものについて高い正答率が見られた。筋道を立てて証明すること、確率の求め方、一次関数について、高い理解度が見られた。

全領域において、記述式については他の問題と比較して無回答率が高いものの、北海道、全国と比較すると低い結果が見られた。

#### ●課題

【思考力・判断力・表現力】のうち、A「数と式」において、連続する2つの偶数を、文字を用いた式で表すことができるかを問われたもの、目的に応じて式を変形したり意味を読み取ったりして、説明することができるかを問われたものについて、正答率が低い結果となった。

授業の中で、式の意味を理解すること、問題文から式を作ったりそれを変形させたりする機会を設け理解度を高めていきたい。

### 生活・学習状況

☆ほぼすべての生徒が肯定的な回答（90～100%）

- ・朝食を食べている ・毎日同じ時刻に起きている ・いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う
- ・国語の授業は将来役に立つ ・国語の勉強は大切だ

◇毎日同じ時間に寝ている（80%）

◇自分には良いところがあると思う（73%）

◇携帯電話・スマートフォンの使い方について、家の人との約束を守っている（75.3%）

◇先生は良いところを認めてくれる（79%）

◇将来の夢や目標を持っている（59%）

◇人が困っているときは進んで助けている（77%）

◇人の役に立つ人間になりたい（89%）

◇学校に行くのは楽しいと思う（73%）

◇友人関係に満足している（89%）

◇授業でコンピュータなどのICT機器をほぼ毎日活用した（64%）

◇数学の授業は大切だと思う（83%）

◇授業でコンピュータなどのICTを活用することで、自分の考えや意見をわかりやすく伝えることができる（89%）

●理科の勉強は好きではない（53%）

●平日、テレビゲームや携帯電話でのゲームを1日2時間以上する（51%）

●学校の授業時間以外に、普段1日1時間以上勉強する（37%）30分以下（38%）

●土日など学校が休みの日に勉強する時間が30分以下（61%）

●携帯電話、スマートフォンの使い方についての家の人との約束について、あまり守っていない・約束がない（22%）

### 本校生徒の学習・生活の傾向

- ・自尊意識、規範意識ともに高い生徒が多い。また、人間関係においても満足度が高く、協力し合う姿勢があり、前向きに学校生活を過ごす生徒が多い。
- ・約9割の生徒が「ICTを活用することで、自分の考えや意見をわかりやすく伝えることができる」と回答していたことから、ICT機器を活用した授業を推進している成果が表れてきていると考える。さらには、個人がICT機器を使いこなし、活用の仕方を身につけてきているということがいえる。
- ・家庭での学習時間が少なく、ゲームを1日2時間以上する生徒も半数を超えている。家庭学習については、生徒にタイムマネジメント力を身につけさせ、家庭や小学校との連携を強化する。
- ・携帯電話、スマートフォンの使い方について、約2割の生徒が約束や制限の無い中で使用していることから、スマートフォンやSNSを使用する際のモラルやマナーについて継続的に指導する必要がある。